

3-1 百里飛行場における騒音実態調査

～ 飛行場周辺10地点の調査結果 ～

航空自衛隊百里飛行場は茨城空港との共用空港です。県では百里飛行場周辺の環境基準の達成状況を把握し、航空機騒音を防ぐ各種施策の推進を図ることを目的として調査しています。

調査概要

百里飛行場の周辺10地点で航空機の種類を識別できる専用測定装置を使って、百里飛行場から発着している航空機の騒音を測定しています。

※県では、この10箇所の他に飛行場近隣の2地点において、騒音を連続測定しています。

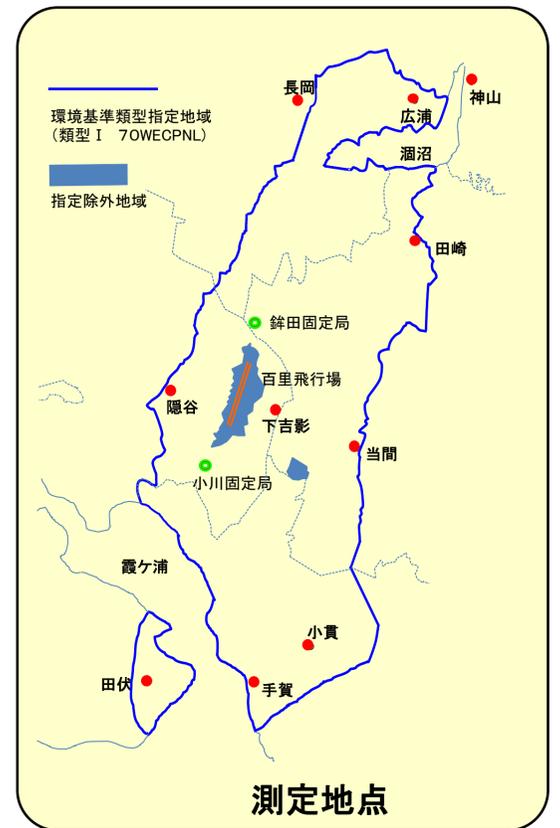
2週間測定した値を基に、年間の騒音の大きさを推定し、それを環境基準値と比べて目標を達成しているかどうかを判断します。

騒音は、 L_{den} (エルデン, 単位はdB) という指標で評価しています。

※平成25年4月からは、WECPNLから L_{den} という評価方式に変更となっています。



測定の様子



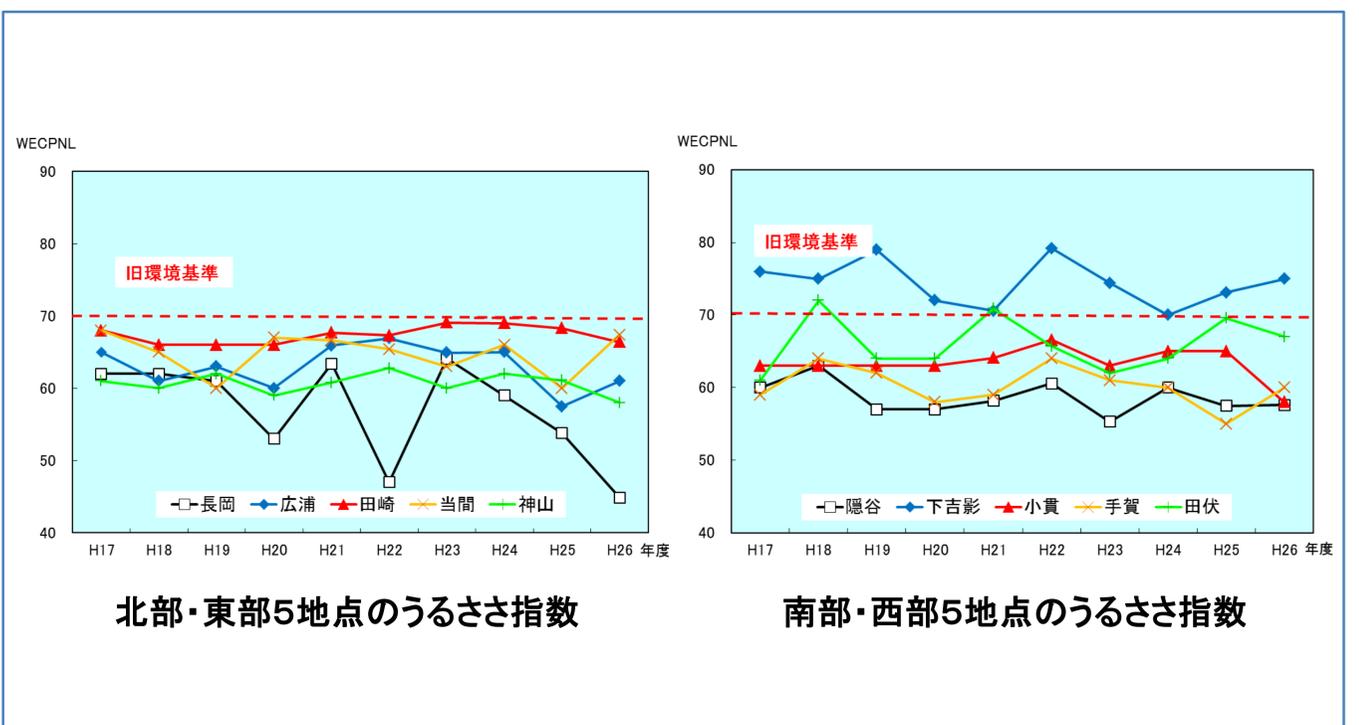
測定地点

地点別の経年変化

航空機騒音の指標は平成25年度から L_{den} へ変更されましたが、それ以前は、WECPNLという指標で評価をしていました。

平成17年度から平成26年度までの10年間について現在までの傾向を見るため、平成24年度までの指標であった「うるささ指数 (WECPNL)」と呼ばれる航空機のうるささを示す値を地点ごとに比べました。

その結果、少しのバラツキはありますが、全体としてほぼ横ばいになっています。



北部・東部5地点のうるささ指数

南部・西部5地点のうるささ指数